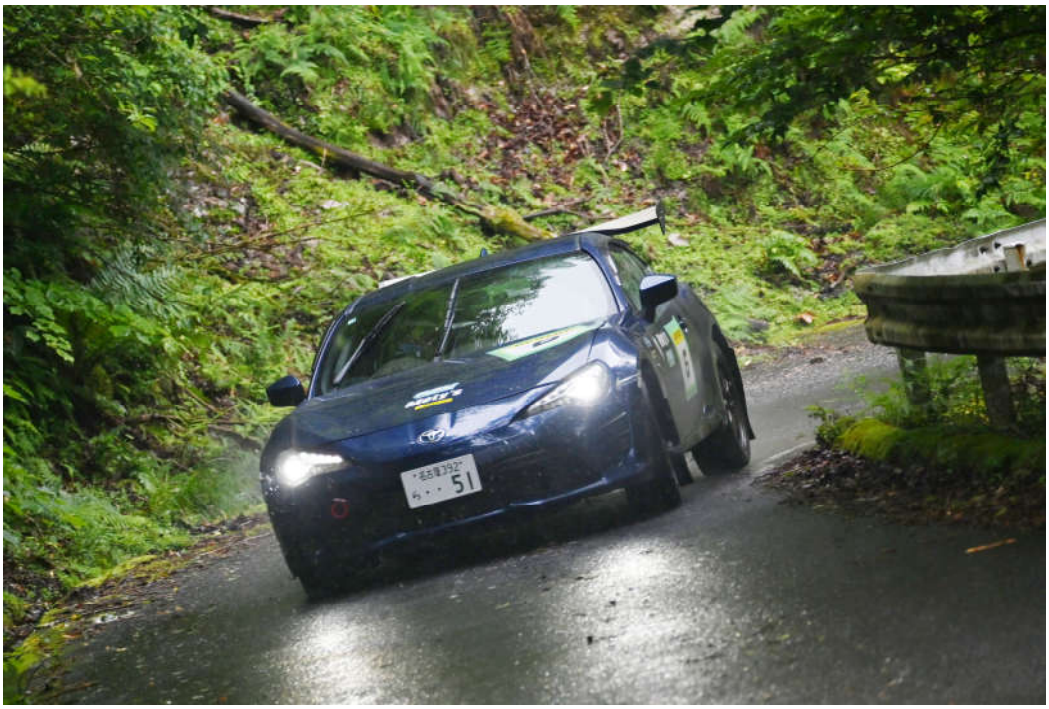
JAF JAF 中部地域クラブ協議会 JMRC 中部

２０２５年ＪＡＦ中部･近畿ラリー選手権　第２戦
２０２５年ＪＭＲＣ中部ラリーチャンピオンシリーズ　第２戦
２０２５年ＪＭＲＣ中部ラリーチャレンジシリーズ　第３戦

特別協賛　三重トヨタ自動車株式会社
2025 年わた SHIGA 輝く国スポ･障スポキャラクター
チャッフィー　キャッフィー

いなべ東近江ラリー2025



特別規則書(草案)

開催日：２０２５年６月２１日～２２日

後援　三重県　滋賀県　いなべ市　東近江市

主催：トライアルスタッフオン！

V1.5

いなべ東近江ラリー２０２５　目次

第１条	プログラム	Ｐ３
第２条	競技会の名称	Ｐ３
第３条	競技の格式	Ｐ３
第４条	競技種目	Ｐ３
第５条	開催日程及び開催場所	Ｐ３
第６条	競技会本部（ＨＱ）及びサービスパーク	Ｐ４
第７条	コース概要	Ｐ４
第８条	オーガナイザー	Ｐ４
第９条	組織	Ｐ４
第１０条	参加申込受付期間	Ｐ５
第１１条	参加申込及び問合せ先（大会事務局）	Ｐ５
第１２条	保険	Ｐ７
第１３条	整備作業	Ｐ７
第１４条	賞典	Ｐ８
第１５条	ラリー行程表（アイテナリー）	Ｐ８
第１６条	参加車両	Ｐ８
第１７条	クラス区分及びクラスの成立	Ｐ９
第１８条	参加資格	Ｐ１０
第１９条	参加受理	Ｐ１１
第２０条	参加台数	Ｐ１１
第２１条	競技会受付（参加確認）	Ｐ１１
第２２条	車両検査	Ｐ１１
第２３条	コントロール	Ｐ１２
第２４条	順位決定	Ｐ１２
第２５条	抗議	Ｐ１２
第２６条	競技会の延期、中止、または短縮	Ｐ１３
第２７条	損害の補償	Ｐ１３
第２８条	競技規則の解釈	Ｐ１４
第２９条	罰則	Ｐ１４
第３０条	オフィシャルの識別	Ｐ１４
第３１条	事前走行の禁止	Ｐ１４
第３２条	開会式　セレモニアルスタート　閉会式	Ｐ１４
第３３条	本特別規則書に記載されていない事項	Ｐ１５
細則１		Ｐ１６
細則２		Ｐ１７
細則３		Ｐ１８
細則４		Ｐ１９
細則５		Ｐ１９
細則６		Ｐ１９
細則７		Ｐ２０
細則８		Ｐ２１

公示

本競技会は、ＦＩＡ国際モータースポーツ競技規則およびその付則に準拠した一般社団法人日本自動車連盟（ＪＡＦ）の国内競技規則およびその細則（２０２５年日本ラリー選手権規定、ＪＭＲＣ中部共通規則、ＪＭＲＣ中部ラリーシリーズ戦規定）および本大会特別規則と細則に従って開催される。

第１条 プログラム

アイテム	日時	場所
参加申込受付期間	５月２日（金） ９：00～ ５月３０日（金） ～21：00	大会事務局
サービスパークオープン	６月２１日（土） ８：00～18：00	株式会社フジ技研職員駐車場
レッキ受付	６月２１日（土） ９：00～ ９：30	受付（FUJI HUB）
レッキ	６月２１日（土） ９：00～13：30	永源寺より開始（予定）
サービス・メディア受付	６月２１日（土）10：00～15：00	受付（FUJI HUB）
参加確認	６月２１日（土）13：30～15：00	受付（FUJI HUB）
公式車両検査	６月２１日（土）13：30～16：00	車検場（FUJI HUB）
第１回審査委員会	６月２１日（土）16：00～16：30	審査委員会室（FUJI HUB）
スタートリスト発表	６月２１日（土）16：30	公式掲示板
開会式・ブリーフィング	６月２１日（土）17：00～17：40	FUJI HUB
スタート（先頭車）	６月２２日（日） ８：00～	株式会社フジ技研職員駐車場
セレモニアルスタート（予定）	６月２２日（日） ８：10～	FUJI HUB
ラリーフィニッシュ（先頭車）	６月２２日（日）14：48	株式会社フジ技研職員駐車場
再車検（予定）	６月２２日（日）15：00～	株式会社フジ技研職員駐車場
暫定結果発表（予定）	６月２２日（日）15：30	公式掲示板
表彰式（予定）	６月２２日（日）16：00～	FUJI HUB

第２条 競技会の名称

２０２５年ＪＡＦ中部・近畿ラリー選手権 第２戦

２０２５年ＪＭＲＣ中部ラリーチャンピオンシリーズ 第２戦

２０２５年ＪＭＲＣ中部ラリーチャレンジシリーズ 第３戦

『いなべ東近江ラリー２０２５』

第３条 競技会の格式

ＪＡＦ公認準国内格式競技 公認番号：2025－●●●●号

第４条 競技種目

ラリー競技開催規定の細則「スペシャルステージラリー開催規定」に従ったスペシャルステージラリー

第５条 開催日程および開催場所

日程 ：２０２５年６月２１日（土）～２２日（日）の２日間

場所 ：三重県いなべ市～滋賀県東近江市

ラリースタート　：三重県いなべ市　FUJI　HUB
ラリーフィニッシュ：三重県いなべ市　株式会社フジ技研　職員駐車場

第６条　競技会本部（ＨＱ）及び、サービスパーク

所　在　地：いなべ市大安町鍋坂 2366-1
名　　称：ＨＱ:ＦＵＪＩＨＵＢ
　　サービスパーク：株式会社フジ技研　職員駐車場（非舗装）
電話番号　：０９０－４１９７－６６３９（競技長）
開設日時　：6月２１日（土）　８：００～１９：００
開設日時　：6月２２日（日）　６：００～１８：００
　　※レイアウトは別途コミュニケーションを発行して示す。

第７条　コース概要

スペシャルステージの路面	：ターマック（舗装）
総走行距離	：１３９．４１ｋｍ（選手権・オープン）７２．１０ｋｍ（チャレンジ）
スペシャルステージの総距離	：２７．１８ｋｍ（選手権・オープン）１３．５９ｋｍ（チャレンジ）
スペシャルステージの数	：　６（選手権・オープン）３（チャレンジ）
セクションの数	：　２（選手権・オープン）１（チャレンジ）
レグの数	：　１

第８条　オーガナイザー

名　称　：トライアルスタッフオン！（ＯＮ！）[JAF 加盟　No.２４０２４]
所在地　：〒５１３－００４１ 三重県鈴鹿市長太新町４-２-３６　スタッフオン株式会社内
　　代表者名：竜田　健
ＴＥＬ　：０５９－３８５－４０１９　ＦＡＸ：０５９－３８５－４０４７
E-Mail　：info@staff-on.com　ＵＲＬ：http://www.staff-on.com

第９条　組織

９.１ 大会役員

大会特別名誉会長	：	一見　勝之	（三重県知事）	三日月　大造	（滋賀県知事）
大会名誉会長	：	日沖　靖	（いなべ市長）	小椋　正清	（東近江市長）
	：				
大会名誉顧問	：	日沖　正信	（三重県議会議員）		
大会実行委員長	：	清水　隆弘	（いなべ市議会議員）		
大会実行副委員長	：	藤田　賢吾	（菰野町議会議員）		
大会会長	：	竜田　健	（ＯＮ! 代表）		

９.２ 組織委員会

組織委員長	：	竜田 健	（ＯＮ！）			
組織委員	：	齋藤 雅輝	（ＯＮ！）			
組織委員	：	馬場 和人	（ＯＮ！）			

９.３ 審査委員会

審査委員長	：	鎌野 賢志	（JMRC 中部派遣）
審査委員	：	福永 修	（JMRC 近畿派遣）

９.４ 競技役員

競技長	：	竜田 健	（ＯＮ！）				
副競技長	：	齋藤 雅輝	（ＯＮ！）	加藤 壽孝	（ＯＮ！）		
コース委員長	：	野村 好人	（ＯＮ！）				
計時委員長	：	馬場 和人	（ＯＮ！）	副計時委員長	：	見邨 聡	（ＭＡＳＣ）
技術委員長	：	中根 敏晴	（ＯＮ！）	副技術委員長	：	石垣 進一	（ＯＮ！）
救急委員長	：	竜田 真由美	（ＯＮ！）				
事務局長	：	齋藤 雅輝	（ＯＮ！）	伊藤 宏将	（ＯＮ！）		
医師団長	：	古橋 範雄	（ＯＮ！）				
サービスパーク管理者			：	川島 浩史	（ＯＮ！）		
コンペティターズリレーションズオフィサー（ＣＲＯ）			：	藤田 洋文	（Ｓｙｍｐｈｏｎｙ）		

第１０条 参加申込受付期間

１０.１ 受付開始

２０２５年5月2日（金） ９：００

１０.２ 受付終了

２０２５年5月３０日（金）２１：００

第１１条 参加申込および問い合わせ先（大会事務局）

１１.１ いなべ東近江ラリー２０２５事務局

所在地：〒513-0041 三重県鈴鹿市長太新町 4-2-36 スタッフオン株式会社内

担当者：竜田 健

ＴＥＬ：０９０－４１９７－６６３９ ＦＡＸ：０５９－３８５－４０４７

E-Mail：info@staff-on.com ＵＲＬ：http://www.staff-on.com

１１.２ 提出書類

次に指定する２つの方法により①～⑧のすべての情報を提出すること。

■フォームからの提出（①参加申込書②車両申告書③サービス申込書）

※①～③はフォームへの入力のみ、原紙送付不要

【フォーム A】豊田しもやまラリーと全く同じ内容で申込む方のエントリーフォーム

https://ws.formzu.net/fgen/S75502653/

【フォーム B】通常エントリー

（豊田しもやまラリーのエントラントであっても、一部でも内容が異なる場合はこちら）

https://ws.formzu.net/fgen/S861232448/

■メールでの提出（④～⑦）

次に規定する④⑤⑥⑦の画像を電子メール添付にて提出すること。

送付先はinfo@staff-on.comとし、件名に「いなべ東近江ラリー（ドライバー名）」として、

受付期間内に送信すること。

④ドライバー／コ・ドライバーの運転免許証と競技運転者許可証の画像

マイナ免許証のみの場合、読み取りアプリの画面コピー

https://myna-menkyo-app.npa.go.jp/

⑤参加車両の自動車検査証（電子車検証は、自動車検査証記録事項のコピー）

⑥ラリー競技に有効な自動車保険（任意）証券、スポーツ安全保険、各地区JMRC共済、対人対物に有効な互助会（見舞金）の加入を証明する書類の画像

⑦参加料振込明細書の画像

⑧「誓約書」は開催日当日、参加受付で原本を提出して下さい。

なお、提出物④、⑧の様式は下記URLからダウンロードして使用すること。

http://staff-on.com/motorsports/inabehigasiomirally2025/service3.html

１１．３　参加料の支払方法

参加料は下記の預金口座へ振込によって支払うこと。

銀 行 名：桑名三重信用金庫　　支 店 名：員弁中央支店

口座番号：普通預金００９２６４９　口座名義：トライアルスタッフオン

参加申込にかかる振込手数料は参加者の負担とする。

１１．４　参加料

１１．４．１　エントリー費　（全て、21 日開会式後のウェルカムパーティ参加費を含む）

①中部・近畿ラリー選手権・チャンピオンシリーズ

１台につき　６０,０００円（宿泊は主催者斡旋または各自手配とする。※参照）

②チャレンジシリーズ

１台につき　４０,０００円（宿泊は主催者斡旋または各自手配とする。※参照）

③オープンクラス

１台につき　６０,０００円（宿泊は主催者斡旋または各自手配とする。※参照）

④Women's Rally Cup

本項①・②に参加する女性ドライバーおよび女性コ・ドライバーに対して自動的に適用されるもので、追加費用は必要としない。

※各自で宿泊を手配する場合は、宿泊費を送金せずに、費用計算書欄外にその旨記入する事。
開催エリア付近の宿泊施設情報は少なく、各自手配の際は十分余裕をもって手配する事。
主催者斡旋宿泊は、申込順に青川峡キャンピングパークを斡旋する。（1 名６,000 円）
定員を超えた場合、木地師やまの子の家（東近江市）を斡旋する。（1 名４,000 円）
※ウェルカムパーティは原則参加とし、やむを得ず欠席の場合は費用計算書欄外にその旨記入する事。
パーティは会場使用料と一体の為、欠席の場合も参加費の返還は行わない。

・サービス登録料　（各クラス共通）
サービス人員１名につき１,０００円（宿泊は主催者斡旋または各自手配とする。※参照）
サービス車両及び駐車枠　追加１台または１台分枠につき　１,０００円
※サービス車両１台分（但し、コ・ドライバー車両または送迎車両等を含む）は無料
※サービス人員もパーティに参加希望の場合、１名につき＋２，０００円を追加し送金する事。

１１．４．２　エントリー費の割引制度
エントリー促進、開催地域の活性化を目的として下記の割引制度を設定します。
① TGR ラリーチャレンジ準拠車両（タイヤを含む）にて中部・近畿ラリー選手権にエントリーする場合
→１０，０００円割引
JMRC 中部チャレンジシリーズにエントリーする場合
→５，０００円割引
② ６月２２日時点で２５歳以下のドライバー
→１０，０００円割引
JMRC 中部チャレンジシリーズにエントリーする場合
→５，０００円割引
③ Women's ドライバー支援（コ・ドライバーは適用外）
→１０，０００円割引
※上記①と②は重複適用不可。③は①または②と重複適用可とする。

第１２条 保険

競技参加者はラリー競技に有効な対人（自賠責の他に最低４００万円）・対物賠償保険（最低３０万円）および搭乗者保険、または上記要件を満たす各地区ＪＭＲＣ共済、互助会等に加入し、その証明を事前に提出すること。
※事故等の損害賠償額が、各保険および互助会の限度額を超えた場合は自己責任とし、主催者は一切責任を負わない。よって、補償が十分にあるラリー競技に有効な任意保険に加入することを強く推奨する。
競技中に人工の構造物、自然の樹木等に損害を与えた場合、当該車両の運転者は速やかに主催者にその詳細を報告しなければならい。自損事故においても同様に報告すること。

第１３条 整備作業

１３.１　監督役員
９.４に記載の技術委員長及びサービスパーク管理者が監督を行う。
１３.２　整備作業の場所
整備作業を行うことができる場所：コミュニケーションで指定されるサービスパーク内のエリアに限る。

整備作業は必ずブルーシートを敷いて行う事。

１３.３　サービスカー

サービスカーの管理方法：サービス車両として登録された車両には、識別のための駐車パスを発行する。
駐車パスは常に視認できるようにダッシュボード等に掲示すること。

１３.４　整備作業の報告

整備作業の報告：１３.５項の 1）～5）以外の整備作業を行なう場合は、技術委員長の許可を得た上で行ない、整備作業後には所定の整備申告書を必ず提出すること。

１３.５　申告を必要としない整備作業の範囲

1）タイヤの交換
2）ランプ類のバルブ交換
3）点火プラグの交換
4）Ｖベルトの交換
5）各部点検増締め、洗浄、および油脂類、冷却水、ウォッシャー液の補充

１３.6　スペシャルステージ開催規定第 3 章第 16 条サービスに該当しないサービスは設けない。

第１４条　賞典

ＤＥ－１：１～３位　ＪＡＦメダル・副賞　４～６位　副賞
ＤＥ－２：１～３位　ＪＡＦメダル・副賞　４～６位　副賞
ＤＥ－５：１～３位　ＪＡＦメダル・副賞　４～６位　副賞
ＤＥ－６：１～３位　ＪＡＦメダル・副賞　４～６位　副賞
チャレンジクラス：１位～３位　ＪＡＦメダル・副賞
オープンクラス　：1 位～3 位主催者特別賞
Women's ドライバー賞　１位 主催者賞
Women's コ・ドライバー賞　１位 主催者賞

なお、ＪＡＦメダルを除き、各クラス参加台数の３０%を下回らない範囲で賞典の制限をする。
この場合の正式な賞典内容は公式通知にて告知される。

第１５条　ラリー行程表（アイテナリー）

本規則書細則１および２に示す。

第１６条　参加車両

１６.１　ＪＡＦ中部・近畿ラリー選手権（ＪＭＲＣ中部チャンピオンシリーズ）
２０２５年ＪＡＦ国内競技車両規則第２編ラリー車両規定（ＲＪ・ＲＲＮ・ＲＦ・ＲＰＮ・ＡＥ）に従った車両

１６.２　ＪＭＲＣ中部チャレンジシリーズ
２０２５年ＪＡＦ国内競技車両規則第２編ラリー車両規定（RJ・ＲＲＮ・ＲＦ・ＲＰＮ・ＡＥ）に従った車両および、ＦＩＡ公認車両またはＪＡＦ登録車両で、２００２年 12 月 31 日以前に運輸支局等に初度登録され、かつ２００２年ＪＡＦ国内競技車両規則第３編ラリー車両規定に従った車両（ＲＢ車両）

１６.３
１６.１～１６.２の共通事項として下記の条件を満たすこと。

１６.３.１
純正又は車検対応マフラーを装着していること。
ＲＰＮ・ＡＥ車両は、２０２５年ＪＡＦ国内車両規則に準じること。
１６.３.２
各車両規定に定められている仕様の消火器を装備すること。
１６.３.３
非常用停止表示板（三角）２枚、非常用信号灯用具（発煙筒・赤色灯等）、牽引用ロープ
ＯＫ／ＳＯＳマーク（Ａ３）２枚、救急用品を携行していること。なお、非常用停止表示板（三角）及び
ＯＫ／ＳＯＳマークは、クルーが着座した状態で工具を使用することなく取り出せる場所に設置すること。
１６.３.４
メーカーラインオフ時に装備されている安全ベルト（３点式等）に加え、４点式以上の安全ベルトを装備すること。
６点式以上のＦＩＡ 公認安全ベルトの装着を強く推奨する。
１６.３.５
２０２５年ＪＭＲＣ中部ラリーチャンピオンシリーズ及びチャレンジシリーズで使用できるタイヤは市販タイヤに限る。
１６.３.６
１本または複数のスペアタイヤを搭載しなければならない。
（但し、当初の車両に スペアタイヤが搭載されていない場合はこの限りではない。）
１６.３.７
エアクリーナーケースを変更することは出来ない。但し、フィルターエレメントの材質は自由とする。
１６.３.８
過給器付車両へのエアリストリクター装着は任意とする。ただし、装着する場合、そのサイズは、最大内径３３mm（外径３９mm未満）とするが、RRN 車両のリストリクターは公認サイズでなければならない。
過給機ハウジング内径が市販状態で３２mm以下である場合はリストリクターの装着は不要とする。
DE-1 クラスについては、エアリストリクターを装着しない場合は、ECU の変更・改造は一切認められない。
１６.３.９
参加クルーの安全性向上を図る目的で RallyStream 社のトラッキングを採用する。各クルーはインターネットに接続された iPhone 又は Android 端末に下記 URL 記載のアプリケーションをあらかじめ
インストールし、車両に搭載すること。また、当日の電源や熱、走行振動を考慮・対策の
上で設置すること。
イベント番号はレッキ受付時に通知する。

https://www.rallystream.net/competitor/　（ラリーストリーム・QR リンク→）

第１７条 クラス区分およびクラスの成立
１７.１ ＪＡＦ中部・近畿ラリー選手権（ＪＭＲＣ中部チャンピオンシリーズ）
１７.１.１ ＤＥ－１クラス
・気筒容積が２５００ｃｃを超える４輪駆動のＲＪまたはＲＦ車両。
・４輪駆動のＲＲＮ車両。

１７.１.２　ＤＥ－２クラス

・気筒容積が１５００ｃｃを超え２５００ｃｃ以下のＲＪ、ＲＰＮまたはＲＦ車両。

・気筒容積が２５００ｃｃを超える２輪駆動のＲＪ、ＲＰＮまたはＲＦ車両。なお、ＲＰＮ車両については同一車両型式の最も古いＪＡＦ登録年が２００６年１月１日以降の車両のみ参加が認められる。

・２輪駆動の ＲＲＮ車両。

１７.１.３ ＤＥ－５クラス

・気筒容積が１５００ｃｃ以下のＲＪ、ＲＰＮまたはＲＦ車両。
なお、ＲＰＮ車両については 、同一車両型式の最も古いＪＡＦ登録年が２００６年１月１日以降の車両のみ参加が認められる。

１７.１.４ ＤＥ－６クラス

・気筒容積が１５００ｃｃ以下のＲＰＮ、ＲＦ車両（AT に限定）。
なお、ＲＰＮ車両については、同一車両型式の最も古いＪＡＦ登録年が２００６年１月１日以降の車両のみ参加が認められる。

・ＡＥ車両（気筒容積別区分なし）。

１７.２ チャレンジクラス（ＪＭＲＣ中部ラリーチャレンジシリーズ）

気筒容積、駆動方式および異なる車両区分（ＲＪ、ＲＢ、ＲＦ、ＲＰＮ、ＡＥ、ＲＲＮ）によるクラス区分は行わない。

１７.３ Ｗｏｍｅｎ’ｓ　Ｒａｌｌｙ　Ｃｕｐ

Ｗｏｍｅｎ’ｓ　Ｒａｌｌｙ　Ｃｕｐ は、17.1 または 17.2 に参加する女性ドライバー、女性コ・ドライバーを対象に自動的にポイント付与するもので、独立したクラスを設けるものではない。

１７.４　オープンクラス

気筒容積、駆動方式および異なる車両区分（RJ/RB/RF/RPN/AE/RRN）によるクラス区分は行わない。

第１８条　参加資格

１８.１　ＪＭＲＣ中部ラリーチャンピオンシリーズ／ＪＡＦ中部・近畿ラリー選手権

１８.１.１

競技参加者は当該年有効なＪＡＦ競技参加者許可証を所持していなければならない。
但し、クルーが競技参加者を兼ねる場合、この限りではない。

１８.１.２

クルーは当該年有効なＪＡＦ国内競技運転者許可証Ｂ以上を所持していること。

１８.１.３

クルーは参加車両を運転するのに有効な運転免許証を所持していなければならない。

１８.２　ＪＭＲＣ中部ラリーチャレンジシリーズ

１８.２.１

１８.１.１～１８.１.３に、１８.２.２～１８.２.３を追加する。

１８.２.２

ドライバーはドライバーとして、過去５年以内のＪＭＲＣ各地域のラリーシリーズまたはＪＡＦ全日本・地方ラリー選手権においてシリーズ３位以内となった経験が無い者であること。

１８.２.３

参加資格について疑義がある場合は、その証明責任は参加者にあるものとする。

１８.３Ｗｏｍｅｎ‘ｓＲａｌｌｙ　Ｃｕｐ

１８.１または１８.２に参加する女性ドライバー、女性コ・ドライバー個人に対して、自動エントリー制とする。

１８.４ オープンクラス

１８.４.１

競技参加者は当該年有効なＪＡＦ競技参加者許可証を所持していなければならない。

但し、クルーが競技参加者を兼ねる場合、この限りではない。

１８.４.２

クルーは当該年有効なＪＡＦ国内競技運転者許可証Ｂ以上を所持していること。

１８.４.３

クルーは参加車両を運転するのに有効な運転免許証を所持していなければならない。

第１９条　参加受理

１９.１

正式参加受理は公式 WEB サイトにて発表する エントリーリストによる。（書面による通知は行わない）

１９.２

オーガナイザーは、理由を示すことなく参加拒否する権限がある。

１９.３

参加不受理の場合は、事務諸経費２，０００円を差し引いて参加料を返還する。

また、正式参加受理後、参加料および提出書類は一切返還されない。

１９.４

正式参加受理後のクルーの変更は認められない。但し、コ・ドライバー及び参加車両については、参加者から理由を付した文章が提出され、競技会審査委員会が認めた場合はこの限りではない。

１９.５

参加車両の変更は、同一クラス内に限り競技会３日前までに競技会審査委員会が認めた場合変更できる。

１９.６

正式参加受理後の全ての変更は、参加者が理由を付した正式文書に変更手数料 2，０００円を添えて オーガナイザーに届けるものとし、競技会審査委員会の承認を必要とする。

第２０条　参加台数

参加台数は、原則として全クラスを通じ最大７５台とする。申込台数が７５台を超えた場合は、競技会組織委員会の選考により決定する。

第２１条　競技会受付（参加確認）

競技会受付では、競技参加者許可証、クルーの運転免許証、競技運転者許可証、健康管理カード、参加車両の自動車検査証、自動車損害賠償責任保険証、ラリー競技に有効な自動車保険証書（加入が明確に確認できるもの）の確認を行う。但し、事前にこれらの画像データをメール送信している場合は、原本確認のみを行う。

第２２条 車両検査

技術委員により参加車両の検査、サービス作業の管理およびマーキング・封印を行う場合がある。車両検査の合否の最終的な判定は技術委員長の判断となる。

２２.１

クルーは車両の主要諸元を証明するための当該自動車製造者発行のカタログ、パンフレット等（新型車解説書、整備解説書等を含む）を、常に携帯すること。また公認車両は前記書類の他に公認書および公認付属書も携帯すること。

２２.２

車両検査はタイムスケジュールに従って指定の場所で受けなければならない。車両検査を受けていない場合（競技会審査委員会が不可抗力と認めた場合を除く） および車両検査不合格の場合（競技会審査委員会は規則に合致させるための限られた修復時間を与える場合がある）はそれ以降の出走はできない。

２２.３

最終タイムコントロール通過後、指示された車両に対し最終車両検査を行う。また、競技会審査委員会または競技会技術委員長が必要と判断した場合、もしくは抗議の内容により必要とされる場合、分解を伴う検査を行う。最終車両検査の対象になった競技参加者はその指示に従うこと。その際の分解、組付けに必要な工具・部品・費用は全て競技参加者の負担とする。

２２.４

重量測定の確認を行う場合は、ＪＡＦ国内競技車両規定で定められた各数値とする。

第２３条 コントロール

２３.１ 公式時刻

公式時刻は、日本標準時を基準とした競技会計時委員の時計による。

スペシャルステージの計測は１/１０秒まで計測する。

２３.２ 早着ペナルティの対象としないタイムコントロール

以下のタイムコントロールは早着ペナルティの対象としない。

レグ１：ＴＣ６Ａ タイムカードには実際のチェックイン時刻ではなく当初予定されていた目標時刻を記入する。

第２４条 順位決定

２４.１ クラスの競技結果

競技結果はスペシャル ステージで記録された所要時間と、ロードセクションその他で課せられたペナルティを合計して決定される。合計タイムが同じ場合は下記の順により順位を決定する。

１）最初のスペシャルステージ区間の所用時間が少ない者。

２）次のスペシャルステージ区間の所用時間が少ない者。

３）競技会審査委員会が最終決定する。

第２５条 抗議

２５.１

参加者は自分が不当に処遇されていると判断した場合、国内競技規則第１２条に従い、抗議する権利を有する。

２５.１.１

抗議を行う場合は、必ず文書にて理由を明記し、現金２１，２００円を添えて競技長に提出すること。

２５.１.２

抗議が正当と裁定された場合抗議料は返却される。

２５.１.３
抗議により車両の分解検査に要した費用は、その抗議が正当と裁定されなかった場合は抗議提出者が、正当と裁定された場合は抗議対象者が負担する。
その際に要した分解整備等の費用は競技会技術委員長が算出する。

２５.１.４
審判員の判定、計時装置に対して抗議することはできない。

２５.１.５
競技会審査委員会の裁定は、抗議者に宣告される。

２５.２ 抗議の時間

２５.２.１
競技会技術委員長の決定に関する抗議は、決定直後に提出しなければならない。

２５.２.２
成績に関する抗議は、暫定結果発表後３０分以内に提出しなければならない。

第２６条 競技会の延期、中止、または短縮

２６.１
競技会審査委員会は保安上もしくは不可抗力などにより競技の運営に支障がある場合、競技会の延期、中止短縮および内容の変更を決定することができる。

２６.２
延期されたために競技会への参加が不可能となった場合、オーガナイザーの指示する期間内に返還要求を行うことにより参加料は返還される。

２６.３
中止になった場合、事務所経費２，０００円を差し引いて参加料を返還する。

２６.４
競技の進行が全ての参加車両に対して不可能、または著しい障害が生じた場合、もしくは他に及ぼす影響等で競技の続行ができなくなった場合、競技会審査委員会の承認のもと競技長の判断により、打ち切りおよび特定区間の中断を行う。

２６.５
競技が打ち切りになった場合の成績は、競技打ち切り時点までにおけるものとし競技は成立する。
また、打ち切りおよび特定区間の中断により、クラスごとに採点される区間が異なる場合がある。

第２７条 損害の補償

２７.１
競技参加者、クルーは参加車両およびその付属品が破損した場合および第三者に損害を与えた場合、その修復等に対する責任を自己が負わなければならない。

２７.２
競技参加者、クルーはＪＡＦ、オーガナイザー、大会役員、オフィシャル、道路管理者、警察および関係省庁が一切の損害事故の責任を免除されていることを了承しなければならない。すなわち、競技役員がその役務遂行に最善を尽くすことはもちろんであるが、競技参加者、クルー、サービス員の負傷、死亡その他車両の損害賠償に対してＪＡＦ、オーガナイザー、大会役員、オフィシャル、道路管理者、警察および関係省庁は一切補償責任を負わない。

２７.３

競技参加者、クルー、サービス員が競技中に起こしたオーガナイザーおよび役員の車両またはその設備や、道路関係施設、会場施設・備品、樹木等に対する事故は、いかなる場合も競技参加者が責任をもって賠償するものとする。

第２８条 規則の解釈

ＪＭＲＣ中部ラリーシリーズ共通規則、競技会特別規則および競技に関する諸規則の解釈に疑義が生じた場合は、競技会審査委員会の決定を最終とする。

第２９条 罰 則

２９.１

ラリー競技開催規定細則「スペシャルステージラリー開催規定」第３１条に従う。

２９.２

規則違反、または競技役員の指示に対する不遵守は、国内競技規定に記載されている条項 に従って罰則が適応される。

２９.３

本規則に関する罰則及び本規則に定められていない罰則の選択については、競技会審査委員会が決定する。

２９.４

レッキ中の事故・違反・暴走に対し競技会 審査委員会の裁定により、失格またはタイムペナルティ 60 秒を上限とする罰則が適用される。

第３０条　オフィシャルの識別

コース上のオフィシャルおよびメディアは以下のタバードにより識別される。

ポストチーフ	青色タバードに黒文字	POST CHIEF
ポストマーシャル	橙色タバードに白文字	POST MARSHAL
ステージコマンダー	赤色タバードに黒文字	STAGE COMMANDER
ラジオポイントマーシャル	黄色タバードに右の図柄	
セーフティマーシャル	橙色タバードに黒文字	SAFETY
セーフティマーシャル	赤色タバードに白文字	SAFETY MARSHAL
メディカルマーシャル	白色タバードに黒文字	MEDICAL
CRO	赤色タバードに黒文字	COMPETITORS RELATIONS OFFICER
技術マーシャル	黒色タバードに白文字	SCRUTINEER
メディア	緑色タバードに黒文字	MEDIA

第３１条　事前走行の禁止

いなべ市及び東近江市における事前走行および練習走行とみなされる行為を禁止します。

住民からの通報等により、これらの行為が確認されたクルーは本人らの氏名を公表した上で、出走を認めません。

第３２条　開会式　セレモニアルスタート　閉会式

本規則細則 5 に示す。

第３３条　本特別規則の施行ならびに記載されていない事項

３３.１

本特別規則に記載されていない事項はＪＭＲＣ中部ﾗﾘｰｼﾘｰｽﾞ戦規定および共通規則を適用する。

（ＪＭＲＣ中部ﾗﾘｰｼﾘｰｽﾞ戦規定）

http://www.jmrc-chubu.jp/document/jmrc/entry/2025/2025-rally-senkisokuan.pdf

（ＪＭＲＣ中部ﾗﾘｰｼﾘｰｽﾞ共通規則）

http://www.jmrc-chubu.jp/document/jmrc/entry/2025/2025-rally-kisokuan.pdf

３３.２

前項の共通規則に記載されていない競技に関する事項は、JAF 国内競技規則、ﾗﾘｰ競技開催規定およびその細則に従う。

https://motorsports.jaf.or.jp/regulations/information/internal

３３.３

公式通知はその示す範囲において、すでに示された事項に優先する。

３３.４

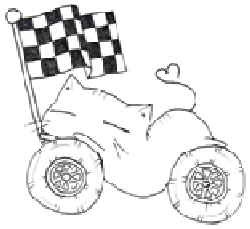
各規則書発行後、JAF によって決定された事項は、すべての規則に優先する。

以上

いなべ東近江ﾗﾘｰ２０２５

大会組織委員会

発行 2025.4.16



細則１　アイテナリー　選手権　オープンクラス

INABE HIGASHIOUMI RALLY 2025
ITINERARY（選手権・オープン）

Leg1　2025/6/29　SUNDAY

TC / SS	Location / 場所	SS dist. / ＳＳ距離	Liaison dist. / リエゾン距離	Total dist. / 総移動距離	Target time / 目標所要時間	First car due / 先頭車時刻	
TC0	Rally Start（株式会社フジ技研職員駐車場）					8:00	Section 1
1	Daian Big Bridge south（大安大橋南）	-	7.49	7.49	0:25	8:25	
SS1	***Lucky Day Rev.1（大安逆走１）***	*1.17*	-	-	*0:03*	*8:28*	
2	Eigenji Temple（永源寺）	-	31.40	32.57	1:10	9:38	
SS2	***Eigenji Temple 1 (永源寺 1)***	*2.20*	-	-	*0:03*	*9:41*	
3	Isigure Peak West（石榑峠西）	-	12.02	14.22	0:30	10:11	
SS3	***Isigure Peak West Long 1 (石榑峠西1)***	*10.22*	-	-	*0:03*	*10:14*	
3A	Service A IN	-	7.60	17.82	0:40	10:54	
	Service A（株式会社フジ技研職員駐車場）	*(13.59)*	*(58.51)*	*(72.10)*	0:45		
3B	Service A OUT - Regroup IN	-	-	-	-	11:39	
	Section 1 Total	*13.59*	*58.51*	*72.10*			
3C	Regroup OUT	-	-	-	0:15	11:54	Section 2
4	Daian Big Bridge south（大安大橋南）	-	2.70	2.70	0:15	12:09	
SS4	***Lucky Day Rev.2 （大安逆走２）***	*1.17*	-	-	*0:03*	*12:12*	
RZ1	Refuel （宇佐美）		2.15	3.32			
	Distance from TC0 （TC0からの距離）	14.76	63.36	78.12			
	Distance to TC4A （TC4Aまでの距離）	12.42	48.87	61.29			
5	Eigenji Temple（永源寺）	-	31.40	32.57	1:20	13:32	
SS5	***Eigenji Temple 2 (永源寺2)***	*2.20*	-	-	*0:03*	*13:35*	
6	Isigure Peak West（石榑峠西）	-	12.02	14.22	0:30	14:05	
SS6	***Isigure Peak West Long 2 (石榑峠西2)***	*10.22*	-	-	*0:03*	*14:08*	
6A	Rally Finish（株式会社フジ技研職員駐車場）	-	7.60	17.82	0:40	14:48	
	Section 2 Total	*13.59*	*53.72*	*67.31*			
	Leg1 Total	*27.18*	*112.23*	*139.41*			
	Rally Total	*27.18*	*112.23*	*139.41*			

※ロードセクションのスタートタイムは、各SSのアクチャルスタートタイムとします（TC0、TC3Cを除く）

※TC6Aは早着によるペナルティはありません

細則２　アイテナリー　チャレンジ

INABE HIGASHIOUMI RALLY 2025

ITINERARY（チャレンジ）

Leg1　2025/6/29　SUNDAY

TC SS	Location 場所	SS dist. ＳＳ距離	Liaison dist. リエゾン距離	Total dist. 総移動距離	Target time 目標所要時間	First car due 先頭車時刻	
TC0	Rally Start（株式会社フジ技研職員駐車場）					8:00	Section 1
1	Daian Big Bridge south（大安大橋南）	-	7.49	7.49	0:25	8:25	
SS1	***Lucky Day Rev.1（大安逆走１）***	*1.17*	-	-	*0:03*	*8:28*	
2	Eigenji Temple（永源寺）	-	31.40	32.57	1:10	9:38	
SS2	***Eigenji Temple 1 (永源寺 1)***	*2.20*	-	-	*0:03*	*9:41*	
3	Isigure Peak West（石榑峠西）	-	12.02	14.22	0:30	10:11	
SS3	***Isigure Peak West Long 1 (石榑峠西1)***	*10.22*	-	-	*0:03*	*10:14*	
3A	Rally Finish（株式会社フジ技研職員駐車場）	-	7.60	17.82	0:40	10:54	
	Section 1Total	*13.59*	*58.51*	*72.10*			
	Leg1 Total	*13.59*	*58.51*	*72.10*			
	Rally Total	*13.59*	*58.51*	*72.10*			

※ロードセクションのスタートタイムは、各SSのアクチャルスタートタイムとします（TC0を除く）

細則３　レッキの実施方法

受付日時　2025 年 6 月 21 日（土）9：00～9：30
受付場所　FUJIHUB（三重県いなべ市大安町鍋坂２３６６－１）

受付にて　レッキ用の諸注意、ロードブック、ゼッケンを配布し、Rallystream のイベントコードを通知します。
レッキ用ゼッケンは、左右ドアミラーに貼り付ける事。

レッキ　　隊列組成は指示しない。受付終了後は速やかに各自で出発する事。
必ず、ロードブックに従って、各ＳＳを２回ずつ走行する事。
永源寺２回→石榑峠西２回→大安２回→サービスパーク

開設時間　永源寺　　10：00～11：30
石榑峠西　　11：00～12：30
大安　　12：00～13：30

遵守事項
１．現地では定刻にスイーパーによる競技車両排除が行われる。
２．遅刻等により、レッキ不十分な場合であっても、個別救済等の措置は行わない。
３．全てのコースで、レッキ時には、道路の占用許可は取っておらず、また石榑峠では
ハイキングシーズンの為、ハイカーがコース内を散策する可能性がある。
1 回目、2 回目共、法規運転は勿論、事故等起さないよう十分留意する事。
大安は生活道路であり、地元車の通行を最優先とする事。
４．レッキ終了後、指定給油所での満タン給油を義務付ける。
５．当地ではラリーへの関心がとても高まっており、法規運転、安全運転は勿論
休憩時等も、周囲の人の目を十分意識し、選手としてモラルある行動を取る事。
６．その他、各所でオフィシャルの指示には必ず従う事。
７．レッキ開設時間を厳守する事。
８．以上これらの事に違反が見られた場合や、レッキ中の事故や違反等については
審査委員会に報告の上、厳正に対処する。

細則４　ＣＲＯ（コンペティターリレーションオフィサー）

氏名　：　藤田　洋文

電話　：　当日エントラントに配布するクレデンシャル裏面に記す。

行動予定

２１日

９：００	～	９：３０	レッキ受付	（FUJI HUB）
９：３０	～	１６：００	サービスパーク	（株式会社フジ技研職員駐車場）
１６：００	～	１６：３０	審査委員会	（FUJI HUB）
１７：００	～	１９：００	開会式	（FUJI HUB）
２０：００	～		宿泊施設	（木地師山の子の家・予定）

２２日

８：００	～	９：２５	セレモニアルスタート	（FUJI HUB）
９：２５	～	１５：００	サービスパーク	（株式会社フジ技研職員駐車場）
１５：００	～	１６：００	審査委員会	（FUJI HUB）
１６：００	～		表彰式	（FUJI HUB）

細則５　開会式及びドライバーズブリーフィング

開会式及びドライバーズブリーフィングにはクルーが必ず出席する事。

セレモニアルスタート及び閉会式は実施しない場合がある。

その場合の賞典授与方法変更など（HQ での授与等）については、公式通知の発行をもって通知する。

細則６　ゼッケン等貼り付け位置

ゼッケン　：左右ドアおよびボンネットの計 3 枚 3 カ所。

ＪＡＦ公認ラリー競技会之証　：左リアウィンドウに内側から貼り付ける。

細則７　信号灯によるスタート手順

スタート40秒前 時分秒の表示	スタート5秒前 時分秒の表示 青　消灯 赤1個点灯
スタート30秒前 時分秒の 青3本 表示	スタート4秒前 時分秒の表示 青 消灯 赤2個 点灯
スタート15秒前 時分秒の表示 青2本 表示	スタート3秒前 時分秒の表示 青 消灯 赤3個 点灯
スタート10秒前 時分秒の表示 青1本 表示	スタート2秒前 時分秒の表示 青 消灯 赤4個 点灯
	スタート1秒前 時分秒の表示 青 消灯 赤5個 点灯
	スタート 時分秒の表示 青 消灯 赤 消灯 緑バー 点灯

もしこのシステムが故障した場合は、クルーに充分聞こえる大きな声で３０秒－１５秒－１０秒－５秒－４秒－３秒－２秒－１秒の順にカウントダウンする。

細則８ 2025 年 Women’s Rally Cup シリーズ規定

第１条 目的

女性のラリー参加を促進し、中部・近畿地区のラリー環境の活性化を図ることを目的とする。

第２条 対象ラリー

下記の 6 競技会を対象ラリーとする。

ラウンド	日程	競技会名	開催地
Rd.1	5/24-25	豊田しもやまラリー	愛知
Rd.2	6/21-22	いなべ東近江ラリー	三重・滋賀
Rd.3	7/19-20	やましろのくにラリーin 宇治田原・和束	京都
Rd.4	8/23-24	丹後半島ラリー	京都
Rd.5	9/13-14	神大ラリー	兵庫
最終戦	12/6-7	Women’s Rally in 恵那	岐阜

第３条 対象者

女性ドライバーおよび女性コ・ドライバーを対象とする。

第４条 部門およびクラス区分

1. ドライバー部門とコ・ドライバー部門の 2 部門を設ける。
2. Women's Rally Cup としてのクラスは設定しないが、対象ラリーのシリーズまたは主催者が設定したクラス内でのサブタイトルとする。

第５条 車両規定

対象ラリーの共通規則および競技会特別規則を準拠しなければならない。

第６条 所属クラブ

1. クラブへの所属は任意とする。
2. 各地区のＪＭＲＣが設定する互助会制度を利用する場合は、各地区ＪＭＲＣの規定に基づく加入要件を満たす必要がある。

第７条 ポイント

1. 対象ラリーの参加クラス内における女性ドライバー（コ・ドライバー）のみの順位に応じて以下のポイントを付与する。

順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
ポイント	20	15	12	10	8	6	4	3

2. ポイントは個人に付与されるもので、クルーの組み合わせの変更があっても通算される。
3. ポイントは異なる参加クラスのポイントも通算される。
4. シリーズ順位は、ポイントの大きい順とし、同点の場合は、より上位のポイントを獲得した選手を上位とする。
5. 前項でも同点の場合は、同順位とする。

第８条 シリーズ表彰

最終戦「Women’s Rally in 恵那」にて、ポイント 1 位～3 位の選手を表彰する。

第９条 シリーズ事務局

ＭＡＳＣ内にシリーズ事務局を置き、ポイント集計および広報活動を行う。

第１０条 付帯事項

２０２６年以降は、本制度を見直し発展させるため、スポンサー活動や他地区への展開等のブラッシュアップを実施する。